

発行・編集 学校法人皇學館 企画部  
TEL 0596-22-6496・8600

大学  
大学院・専攻科・文学部・教育学部・  
現代日本社会学部・社会福祉学部  
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校 三重県伊勢市桶部町138  
【高校】〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)  
【中学】〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

学園報

# 皇學館

第42号



### ●今号の注目記事

- 1面 中村貴史学校長、抱負を語る
- 2面 平成25年 学長年頭講話 学内成人式を開催
- 3面 新県立博物館と連携協力
- 4面 学生が漢字一字で新年の抱負
- 5面 卒業生随想 高校・中学校
- 6面 月次祭参拝、修学旅行ほか 高校・中学校
- 7面 第52期学友会が発足
- 8面 故南幸男画伯の絵画寄贈 柔道部が内宮遥拝
- 連載
- 2面 皇學館人物列伝⑨ 倉野憲司
- 7面 先輩、お元気ですか 吉田洋一氏 (国史学科第30期・平成7年卒)

## 皇學館高校・中学校周年記念インタビュー

# 清明正直の人材育成を

## 中村貴史学校長抱負を語る

平成二十五年は皇學館高校が創立五十周年、皇學館中学校は創立三十五周年という記念すべき年にあたる。この佳節を迎え、今後の学校運営について両校を率いる中村貴史学校長に抱負を伺った。

――節目の年にあたり抱負をお聞かせください。

学校長 ◆記念周年を迎えましたが、特別に新しいことをするつもりはありません。むしろ初心にかえてこれまで通り、神道の教えに基づく人間像「清明正直」――清潔で明るく、正直で素直な人材を育てていくことを続けていきたいと思っております。ただ、キリスト教や仏教と違い神道には明文化された經典のようなものがないので、子どもたちには理解しづらいかもしれません。そこで、今年一年かけて私なりに生徒向けの指導書を作り上げたいと考えています。

――人材育成に関して、具体的にはどのような授業、指導が行われているのですか。

学校長 ◆高校においては三年生に対して神道の授業を週に一度実施しています。授業では幕末の志士で思想家であった橋本左内こと景岳先生の『啓発録』や吉田松陰先生の『士規七則』といった先人の遺著を教本に、志を立てること、気概を持ち続けることの大切さなどを説いています。また、中高の一部、総合の授業では「教育勅語」を暗唱させていますよ。覚えるというのとはとても大事なことでですからね。

――成果は上がっていますか。

学校長 ◆この学校で学んだことがどんな形で彼らの中に根付き、反映されるかはわかりません。でも、やがてどこかで実り、花開くだろうと信じています。目に見えるところでは、入学してから

――少子化をはじめ、学校を取り巻く環境は厳しいものがあります。その中で舵取りを、どのようにお考えですか。

学校長 ◆まずは、学力の保証です。そのためには科目や教科書の内容に知的興味を持たせることが重要。暗記も大事ですがそればかりではだめで、いかに生徒の学ぶ意欲を引き出せるかは授業を受け持つ教員の力量に

――礼儀礼節が身に付いた、挨拶がしつかりできるようになったなど、お褒めの言葉を頂戴することは多いですね。

取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

## 中高一貫教育で伸びやかに

かかっているといっても過言ではありません。わが校は独自の授業評価制度を導入しており、わかりやすい授業づくり、教育力の向上を図っています。

――また、大学と違い、高校の教育は臨床が重要です。教室という現場で生徒が何を考えどのような特性を持っているのか、教員が生徒一人ひとりの変化や個性を敏感に感じ

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……



――私学の強み、というわけですね？

学校長 ◆その通りです。事情もあって私自身、今年も授業を受け持っていますが、きめ細やかな指導ができるのは私学の特権でしょう。

――地域においてはどのような役割を果たすべきだとお考えですか。

学校長 ◆神宮のお膝元である伊勢の倉田山という地に学び舎が存在し、この場所で歴史を積み重ねてきたことはわが校の大きな特色です。今年、お陰様で記念すべき年を迎えることができま

――山に根ざし、「あそこなら大丈夫だね」と地域の方に信頼され、愛される学校をめざしていきたい

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

## 倉田山に根付く学校

――地域においてはどのような役割を果たすべきだとお考えですか。

学校長 ◆神宮のお膝元である伊勢の倉田山という地に学び舎が存在し、この場所で歴史を積み重ねてきたことはわが校の大きな特色です。今年、お陰様で記念すべき年を迎えることができま

――山に根ざし、「あそこなら大丈夫だね」と地域の方に信頼され、愛される学校をめざしていきたい

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……



年々、来場者数が増加している定期演奏会

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……

## 倉田山 春秋

――節分の近づくる日、根津美術館を訪ねた。「新春の国宝那智瀧園」を見るためだったが、女関に安置された如来立像や十一面観音の御姿に接し、思わず時間が静止したのを覚えた▼「那智瀧園」は「瀧を神体とするいわゆる飛瀧権現の垂迹画」と解説されているが、少し離れてみると観音菩薩が瀧に打たれているようにも見える。瀧の両脇には巨大な仏像がこちらを睨み、心の深奥を覗き見られている気がする。合掌して、濃密な時間に別れを告げたが、帰路の新幹線の車窓から見える夕陽が、如何にも荘厳な闇を包みこもうとしていた▼宮澤賢治の詩に「すべてさびしさとかなしさを焚いて／ひとは透明な軌道をすすむ」小岩井農場パート九とある。間もなく、卒業式を迎える。諸君が、これまでの様々な体験を糧に、社会で活躍する日を、この倉田山は待ち望んでいる。(優しさ)は他人の為に、そして培った実力はへ透明な軌道を進む自信となるだろう▼曼荼羅図絵も権現も、私たちの心の表象に違いない。先人の苦しみや喜びは、現代にも通じる。心を鍛える教養と専門の教育が今ほど切望されるとは思えない。

――取得、柔軟に対応しています。また、うちの生徒は真面目に設けています。……



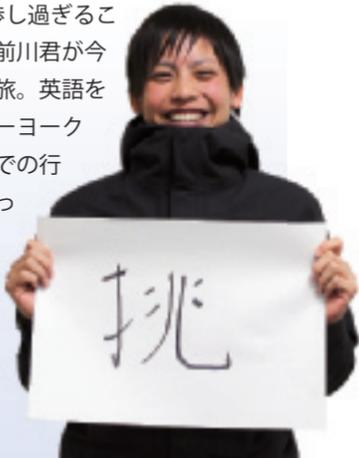


### 海外への一人旅に**挑**戦

国史学科1年 前川元貴

4人兄弟の上から3番目。部活は小中高と野球一筋……いつも大人数に囲まれ賑やかに過ごしてきた国史学科1年の前川元貴君にとって、1人で東京を旅したことは大なるチャレンジだった。「電車を乗り継いで好きな場所で途中下車したりして、すごく自由で楽しかったんですよ～」と興奮気味に話す前川君。

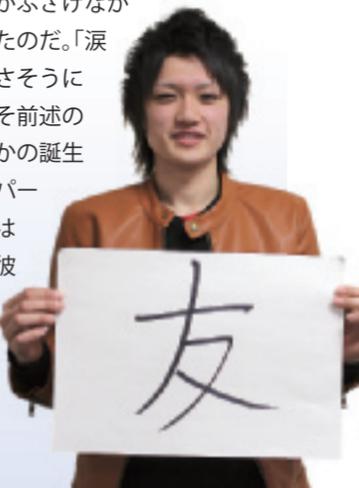
現在兄と2人暮らしだが、お互い干渉し過ぎることなく楽しく暮らしている。そんな前川君が今年挑戦したいことは、海外への一人旅。英語を勉強してバイトで資金もため、ニューヨークに行ってみたく話す。「でも、1人での行動はすべて自己責任ということもしっかり肝に銘じておきたい」と前川君。加えて、「バイトや自炊をしたことで、両親のすごさやありがたみを痛感しました」と語る。これからどんな経験を積み、何を学ぶのか。挑戦は始まったばかりだ。



### 友だちの輪を広げ、深めたい

コミュニケーション学科1年 新谷昇大

12、3人の仲間といつも一緒にいるというコミュニケーション学科1年の新谷昇大君。今年は友だちの輪を広げ、仲を深める一年にしたいと笑顔で話す。友のありがたさを実感したのは高校生のとき。バレーボールの決勝戦で負け、全国大会への出場を逃し落ち込んでいた新谷君に、友人たちがふざけながら励ましのメールを送ってきてくれたのだ。「涙が出るくらい嬉しかった」と照れくさそうに語る新谷君。じつは、その友だちこそ前述の仲良しグループのメンバー。今も誰かの誕生日にはみんなで集まり、バースデーパーティーを開いている。話題に上るのはバイト先の愚痴や将来のことなど。彼女がいる子はひとりもなく、「男同士でつるんでいる方が断然楽しい!」とか。何でも話せる仲間の存在が新谷君の学生生活を一層充実したものにしてくれているようだ。

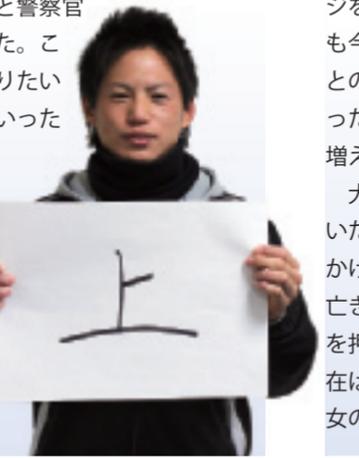


### 妥協せず、常に**上**昇志向で

現代日本社会学科2年 高橋涼介

現代日本社会学科2年・高橋涼介君の今年の抱負は「妥協せず常に上をめざす」。具体的な目標は2つあり、1つ目は高橋君がキャッチャーとして活動する野球部が大学野球における甲子園といわれる神宮大会に出場すること、2つ目は「消防士」として奉職することだ。「野球の方は決して恵まれた練習環境ではありませんが、それを言ったら「逃げ」になる。部員もそれがわかっているから、みんな自主練習をしてトレーニングに励んでいます。僕も授業の合間などに毎日5、6キロは走り込んでいますよ。消防士については「もともとと警察官になりたいという夢を持っていました。この地に生まれ育ったことで地元を守りたいという気持ちがどんどん強くなっていったんです。」

〈上〉という字には、こんな思いも——「うまくいかなかったとき、落ち込んだりネガティブな気持ちになったりすることもあると思うんです。でも、そんなときこそ下を向かず、上を向いて歩いていきたい」。がんばれ、高橋君!



# 漢字一字で新年の抱負

## 新春特別企画

巳年である今年、みなさんはどんな年にしたいですか？ 一年の計は元旦にあり——ただ漫然と過ごすより、小さな事でも目的をきちんとして掲げた方が生活にメリハリがつけます。今回は各学科7名の学生に新年の抱負を漢字一字で書いていただきました。

### 自分の**源**を見つめ直す

神道学科3年 矢島陽子

卒業を1年後に控え、神道学科3年の矢島陽子さんは「自分がなぜこの大学に来たのか、なぜ神職をめざしたのか、今一度原点に戻って考えたい」と話す。まだおぼろげながら、思うのは故郷のこと。長野県木曾郡大桑村出身の矢島さんは小学4年生から高校まで地元・白山神社の祭で舞を奉納してきた。その過程で神職に憧れを持ち、神宮のお膝元にある本学神道学科に進んだ。「社



出身ではありませんし女性という点でも奉職は厳しいかもしれませんが。ただ、神職に就くことだけが神界のお役に立るといっていいのかな、という思いも芽生えてきています。そして、「今は神道を学ぶきっかけを作ってくださった氏神様を大切に、ひいては地元の村興しに携わっていきたくも。迷ったときこそ初心回帰。原点を見つめ直し、納得のいく道を選んでほしい。」

### 大人の自覚を持って**新**たな一歩

国文学科2年 中村寿子

2月26日に誕生日を迎えると、晴れて成人となる国文学科2年の中村寿子さん。大人の自覚を持って新しいことに取り組んでいきたいと意欲を語る。「ゼミも始まりますし、二十歳になったんだからもっとしっかりしなきゃ、と焦りますね」。中村さんがこう思う

うのには理由がある。短大に進んだ友人など、すでに社会人として働いている子が周りに多いのだ。「勤めている友だちの話を聞くと家にお金を入れたり一人暮らしをしていたり、将来設計をきちんと考えていたりして、大人だなあと感じます」。触発された中村さんの目下の目標は新しい資格にチャレンジすること。有力候補は華道の師範免許と簿記検定だ。プライベートでは知らない土地への旅行など、マンネリ化しつつある行動パターンを仕切り直して新しい一歩を踏み出したいと意気込む。

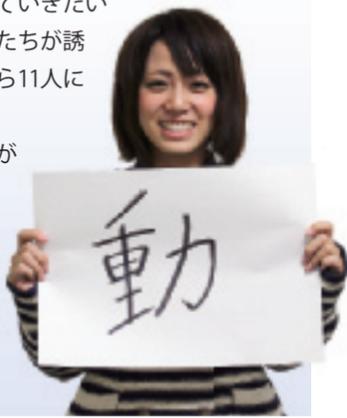


### 行動できる一年に

教育学科1年 大谷奈都希

「今年は“思い立ったが吉日”をモットーに行動したい」と語るのは教育学科1年の大谷奈都希さんだ。とくに、活動を始めて2年目となるボランティアルームのスタッフとして、「1年生のときは何をしたらいいかわからず助けなかったが、経験を積んだ分、2年生になったら自分たちで考えたアイデアをどんどん形にしていきたい」と意気込む。たとえば、スタッフルームの模様替え。明るい色目の布地やかわいいアイテムを置いて〈ボランティア=暗い〉とのイメージを払しょくしたいという。また、活動参加への呼びかけも今まで以上に積極的にしていきたいとのこと。実際、大谷さんたちが誘った縁でメンバーが4人から11人に増えた実績がある。

大谷さんには尊敬する人がいた。同ルームに入るきっかけを作ってくれた、今は亡き先輩だ。「いつも背中を押してくれた先輩の存在は本当に大きかった。彼女の分までがんばります」。



### 可能性の**種**を蒔く年に

社会福祉学科4年 榎本恵実

津市の菓子店で販売員として働くことが決まっている社会福祉学科4年の榎本恵実さん。初めての土地で始まる新しい生活……何事もまっさらな状態の今だからこそ、仕事やプライベートなどいろいろな場面でいつか芽生えるよう可能性の種を蒔いておきたいと決意を語る。「趣味のフラダンスやホルン、学生時代にしていたボランティアを続けたいです。仕事でも、ボランティアコーディネーターをしていた経験を生かし、〈つなぐ〉ことをモットーにお客様と新しい関わり

合いができればいいな、と」。時間の捻出に苦心しそうだが、今の時期はあえて絞らず、気持ちのままに行動したいと話す榎本さん。数年後、どんな花を咲かせているか、楽しみだ。



# 皇學館高校 皇學館中学校 卒業生随想

この春、皇學館高校は316名、皇學館中学校は53名が学び舎を巣立ち新たなスタートを迎える予定だ。3年間の学校生活を振り返って今、彼らが何を思うのか、卒業生の声を紹介する。

## 「ありがとう」の一言

皇學館高校3年5組 矢野翔大



入学してからとてもはやく感じた3年間。たくさんの人との出会いや多くの学びがありました。中でも、本体育大会やクラスマッチでは仲間の大切さや、一人ではほんの少しの力でも、数人、数十人が力を合わせる

学業の面でも先生方にはお世話になりました。この3年間で学んだことは本当に大きな自信となり、今後に活かしていかなければならないものだと思います。最後になりましたが、3年間で出会った仲間、先生方、ありがとうございました。そして両親には日頃、面と向かっては恥ずかしくて言いつらいのですが、本当に感謝しています。「ありがとう」。

また総務委員長として人々の前に立ち挨拶をする機会を与えていただきました。この経験は将来自らの宝物となるでしょう。

## 人間として成長

皇學館高校3年6組 江川真林



3年間という時間はあっという間に過ぎていきました。振り返ってみると、本当にたくさんの思い出が溢れてきます。私は特進クラスということもあり、入学したばかりの頃は勉強についていくのに必死でした。逃げ出したい時もありましたが、クラスの雰囲気ややる気にさせてくれました。勉強だけではなく、体育祭やクラスマッチの時の団結力はどこにも負けていないと思います。仲間一人ひとりの心が一つのをめざし力を合わせるということは実に感

動的で、校友会活動では大変なことが多くたくさん泣きました。仲間は私が悩んでいる時は力になって支えてくれました。辛いこともありましたが、一つ一つ仕事をこなしてやり遂げた達成感は大きく、私を人間として成長させてくれました。まだまだ未熟者ですが、家族や先生方への感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって頑張ります。今までありがとうございました。

## 楽しい3年間をありがとう

皇學館中学校第3学年主任

平賀活行

修学旅行の事前指導が始まった頃、卒業アルバムの編集も始まり、師走を慌ただしく過ごしていると、ふとした瞬間、入学したての君たちを思い出すときがよくありました。

あの頃の君たちは真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで楽しくやっていたのかなど不安を感じていたのではないのでしょうか。そんな君たちが今、卒業を間近にしています。様々な行事に友達とぶつかり合いながらも真剣に取り組み、成長し続けてきた君たちを間近で見てこられたことは本当に幸せでした。しかし、それも終わりに近づいています。残り少ない皇學館中学校生活を謳歌し、有意義な3年間にしてください。そして、皇學館高校でより成長した姿を3年後に見せてくれることを楽しみにしています。

楽しい3年間をありがとう。

贈る言葉

## 先輩、後輩ともに仲良く敬い合えた

皇學館中学校3年A組 中川初保



この学校に来て良かったと思うことは、先輩と後輩の仲がすごく良いということです。

中学校に入る前は怖い、厳しいというのが私の中の「先輩」のイメージでした。しかし皇學館中学校の先輩は新入生として入ってきた私たちにとても優しくしてくださいました。学校案内や生活についてのアドバイス、時には勉強を見てもらうこともありました。そして、いつも優しい先輩方も学校行事になると後輩が相手だからといって手を抜くことはなく、本気で戦い、勝ち抜き、先

輩らしい一面を見せてくださり、そんな先輩方を私たちはいつも尊敬し、慕ってきました。

後輩たちも私たちをいつも慕い、頼り、支えてくれました。後輩に「おはようございます」や「こんにちは」と挨拶されるととても元気が出ました。後輩たちのそんな姿に送られて私たちは安心してこの学校を卒業することが出来ます。

全学年の仲が良く、それでいて互いを敬い合えるということの大切さを私はこの3年間で学びました。

## 周りのおかげで今の自分がいる

皇學館中学校3年B組 柘植翔貴



中学校生活を振り返ってみるとあっという間の3年間でした。その中で特に思い出に残っているのは皇中祭と部活動です。

皇中祭では楽しいことも多かったのですが、準備の段階では意見が食い違い、時にはけんかになることもありました。この時に学んだ事は、「案を複数出してそれらを合わせれば、より発展的なものが生まれる」ということです。何度も話し合い、気持ちを一つにしたからこそ素晴らしい作品を作ることができ、仲間との絆を深め、最高の皇中祭にすることができたと思えました。

また、部活のバスケットボール部では、1、2年生の頃は先輩方についていくのに精一杯でしたが、3年生でキャプテンとなり、周りを引っ張

っていく立場になるといくつもの壁にぶつかりました。そのような時、顧問の先生や先輩方に相談に乗って頂き、解決することができ、最後まで諦めずに続けることが出来ました。

このように僕は中学校生活で人の和の大切さを学習することができました。

親、先生、先輩、同級生、そして、後輩。大げさかも知れないけどみんながいたから今の自分がいると思います。普段は恥ずかしくて言えないけどこの場を借りて伝えたいです。

「今まで本当にありがとうございました。そして、これからも迷惑かけてしまうかもしれませんがよろしくお願いします!」

## 贈る言葉

### 大きな夢、小さな一歩

皇學館高校第3学年主任

村崎

孝

卒業おめでとう。3年前の春、貴方たちと出会ってから今日まで「休まない・遅れない」を学年の目標として、何事にも全力で取り組んできました。

前日の大雪のため、出発が心配された京都フィールドワーク。「返せ、北方領土」に込められた思いを痛いほど感じながら、国後島を望見した修学旅行。志望大学合格のため、必死に受験勉強に取り組んだこと……。いつも貴方たちは、先輩からのバトンをしっかり握り、後輩へと繋ぐことにより、よき伝統を守ろうと努力してくれました。ありがとう。

混沌とした世の中です。しかし、貴方たちが皇學館高等学校で培った「清明正直」の精神をもって生きていければ、どのような世の中も生き抜いていくことができると確信しています。「大きな夢」を持ち、「小さな一歩」からコツコツ頑張ってください。私たち担任団はこの倉田山の地からいつも貴方たちに声援を送り続けています。

「がんばれ! がんばれ! 頼む、がんばってくれ!」

皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業寄付金進捗状況

平成24年12月31日現在

区分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗教界	3	450,000	450,000
企業	42	4,240,000	4,200,000
一般 (旧教職員・有志家等)	18	575,000	575,000
同窓会会員	194	7,520,000	7,520,000
後援会賛助会員	75	1,235,000	1,235,000
本法人関係	126	3,735,000	3,645,000
合計	458	17,755,000	17,625,000

個人情報保護に関する法律の施行に伴い、ご芳名・金額等の掲載をご希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。

■同窓会会員 / 1名 ■本法人関係 / 1名

同周年記念事業は募財活動の中心を「生徒の教育活動支援」に置いており、十二月三十一日現在の募金状況は次の通りです。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご賛同をお願い致します。

同窓会会員

三重県 新谷阿悠美様  
三万円

寄付金進捗状況

皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業

車いすの参拝客をサポート

車いすde伊勢神宮参拝プロジェクト

十一月十一日、皇學館高校の生徒二十五名が伊勢市内のボランティア活動グループが呼びかけた「車いすde伊勢神宮参拝プロジェクト」に参加した。当日はあいにくの雨だったが、生徒たちは一様に笑顔。その表情からは「一人で多くの方の神宮参拝をお手伝いしたい」との気持ちが伝わってきた。

活動中、次第に雨が強くなり足元が悪くなった時もカッパを着た生徒たちは元気に車いすを押し、参加した高齢者の方たちとの会話もはずんでいた。



清めの雨が降る中、元気に参拝

熱いプレーに心打たれる

武道・バドミントン大会

第四十五回武道大会・第三十三回バドミントン大会が十

二月十九日、盛大に行われた。武道では二年生が初参戦というところで、気合いの入った生徒が多く見受けられた。三年生は二回目の参加とあって慣れた様子で賞銀があった。

柔道は二年生が優勝、準優勝し、健闘した。三年生は惜しくも負けてしまったが、カッコいい姿を見せてくれた。剣道では威勢のある声が道場内に響き渡り、厳肅な雰囲気の中で試合が行われた。両学年ともよく奮闘した。二年生の中には決勝戦まで残る生徒もいたが、やはり三年生の経験と技には一歩及ばず、三



気合いの入った試合の連続



白熱したバドミントン大会

年生がみごと優勝した。バドミントンでは各ペアとも素晴らしいチームワークで試合に臨む姿が見られた。一点一点に一喜一憂しては応援する生徒と選手が丸となった。結果、二年生のペアが優勝した。今回の大会は全般的に二年生の健闘が目立ったが、三年生の皆さんの熱いプレーには心打たれるものがあった。

総務委員 山口 嵐

皇高NEWS

高中で月次祭参拝

十二月十七日、月次祭にあわせて全校生徒、全教員が揃っての神宮参拝が行われた。雨になりそうな気配もあったが曇りにとどまり、いつもより暖かいくらいだった。月次祭が神宮の大きな祭りの一つでもあるためか、参拝客も普段より多いように感じた。参拝の際、皆それぞれこの一年の感謝、反省とともに、来年の抱負を頭に浮かべながら参拝したのではないかと



心を一つにしての参拝

また、式年遷宮に向けて、内宮の準備も進められていた。夏には御白石持ちの行事もある。二十年に一度の大きな行事だ。これらの行事の後、新しくなった内宮を参拝したいものだとか楽しみにしている。

総務副委員長 鬼頭雄也

皇中NEWS

沖縄へ二泊三日の修学旅行



美しい海の前でピース!

十二月十六日から二泊三日の日程で三年生が沖縄へ修学旅行を行った。初日は波上宮で正式参拝を行い、ひめゆりの塔にて平和学習をした。二日目は首里城の見学、むら咲きむらでの体験学習、美ら海水族館を観察した。最終日はビーチ散策、国際通りで自由行動をし、沖縄の地を離れた。思い出に残る充実した三日間を過ごせたようであった。

たくさんの方が支えてくれた

三年A組 東川 美空

修学旅行の三日間は本当にあっという間で時間が過ぎるのがとても早かったような気がします。一日目、空港から出たとき、本州との気候の違いに驚きました。その後、最初に行った波上宮では沖縄でしか見られない美しい風景を見ることができました。そし

新校友会役員決まる

十二月十二日に行われた立会演説会・選挙を経て七名の新たな校友会本部役員が誕生した。以下に総務委員長である細川実玖さんの抱負を掲げる。



私が総務委員長に立候補した理由は、昨年の経験を生かして、これまでよりも素晴らしい中学校を創り上げたいと思ったからです。そのためにも、校友会本部役員の七名がこの中学校を引っ張っていかなければならないと考えています。特に皇中祭などといった学校行事では、力を合わせ

校の代表であるということになります。まずは私たちが挨拶をするなど、日々の生活の中で大切なことを積極的にを行います。

私は選挙の時、「何事にも全力で」という目標を決めました。一人ひとりではなく、校友会本部役員全員が全力を尽くすよう心がけていきます。そして、この学校に来て良かったなどみんなに思ってもらえるような、笑顔のあふれる日本一の中学校に明るく理想を目指して取り組んでいきたいです。一年間よろしくお願

総務委員長 細川実玖

総務委員長

細川 実玖 ●2年A組  
何事にも全力で

総務副委員長

高山 大雅 ●2年A組  
笑顔のあふれる学校を目指して  
大川 健太郎 ●2年A組  
何事にも全力を尽くす

書記

佐々木 星 ●2年A組  
あかるくかつぱつりにりそうを目指す!  
柘植 美咲 ●1年B組  
日本一の皇學館にしてみせる!

会計

吉田 彩華 ●1年A組  
もっと笑顔があふれる学校に!  
志村 日向 ●1年B組  
すべてに全力投球

て、ひめゆりの塔では今の沖縄と同じ所とは思えない過酷な戦争があったという



上/ひめゆりの塔にて 下/波上宮での正式参拝

二日目のむら咲きむらでのパンナ作りは初めての私でも上手に作れて嬉しかったです。美ら海水族館では珍しい魚を見たり、イルカのショーを見たりとても楽しい時間を過ごしました。三日目、国際通りでは店の多さとその活

てお土産など買い物をするときたくさん回って少し疲れたけど、お昼に沖縄特有のものが食べられてとても良かったです。沖縄ではたくさんのお世話になりました。そのおかげでこれだけ充実した修学旅行を過ごせたと思います。

# 新役員が笑顔の任命式

## 第五十二期学友会が発足

昨年十二月に発足した第五十二期学友会総務部の任命式が同年十二月十三日、本部大会議室において実施された。同会の新役員を務めるのはあわせて十二名の学生たち。以下に、大役を担う総務委員長、総務副委員長の抱負を掲載する。



上/清水学長より任命状が手渡される  
下/学生代表としての活躍が期待される

### 学生の自主性を向上させたい

総務委員長 寺田 貴彦  
国史学科二年



また、行事を通して学生の自主性の向上へとつながることができればと考えています。

輝いてこそ、華

国際日本学と私学教育

経営戦略セミナー

東海道新幹線の25年

葛西敬之先生

学生の質問に答える葛西先生

### 創立百三十周年・再興五十周年記念事業 寄付者芳名

周年記念事業につきましては、お蔭様をもちまして盛会に終えることができました。ご協力を賜りました皆様には感謝申し上げます。なお、本募金の依頼は昨年度末をもち終りました。生石神社様

#### 宗教界(神社界)

兵庫県 八万円「三万円増額」

創立百三十周年・再興五十周年記念事業 寄付金進捗状況 平成24年12月31日現在

区分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗教界	634	778,377,000	772,737,000
館友	736	82,534,000	80,399,000
篤志家	57	40,040,000	39,920,000
萼の会	1,892	101,271,000	101,271,000
企業	109	63,570,000	62,330,000
本法人関係	260	60,372,000	60,132,000
合計	3,688	1,126,164,000	1,116,789,000

個人情報保護に関する法律の施行に伴い、ご芳名・金額等の掲載をご希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。■萼の会/1名

### 言葉ではなく、行動でサポート

総務副委員長 砂原 大祐  
国史学科二年



この度の就任は、ひとえに学生の皆さんから厚い信任を受けたからだと思っております。それに感謝するとともに、信頼を真切らないよう、総務副委員長として皆さんの学生生活をより良いものとするために力を尽くします。

現代日本塾

国際の視座から私学教育を考える

経営戦略セミナー

東海道新幹線の25年

葛西敬之先生

学生の質問に答える葛西先生

今(こ)で約束したいのは、第五十二期学友会総

総務委員長	寺田 貴彦	国史学科2年
総務副委員長	砂原 大祐	国史学科2年
会計委員	田代 亜希穂	神道学科2年
庶務委員	富田 知賀子	神道学科2年
	西谷 優司	神道学科2年
	大西 龍哉	国文学科2年
	椿 陽介	国文学科2年
	南部 珠奈	国史学科2年
	草野 太郎	教育学科2年
	来光 美希	現代日本社会学科2年
	桑原 和瑛	神道学科2年
	羽佐間 一輝	コミュニケーション学科1年

**吉田 洋一氏** 久留米大学文学部 准教授

国史学科第三十期(平成七年三月)卒。柳川市史編さん室福岡県、佐賀県立佐賀城本丸歴史館を経て平成十八年久留米大学専任講師、平成二十一年現職。

私の勤務先である久留米大学は、福岡県南部に位置する中核都市久留米にあります。同大学は一九二八年(昭和三年)九州医学専門学校をその発祥とし、今年で八十五年目を迎えました。現在は、医学部の他、文・法・経済・商学部と、比較文化・心理学・ビジネス研究科の大学院を有する総合大学となっています。

私は、文学部国際文化学科国際文化専攻に所属し、江戸時代の儒学史や医学史を教育・研究しています。

大学時代の思い出は数多くありますが、特にゼミとアル

待や両学の連携についてもお話しいただき、教職員にとっても頼もしい先達から本学部充実に向けた激励をいただいた思いがした講義であった。

質疑応答にも丁寧に回答をしてくださり、学生たちにとって伊勢で、この大学で、この学部で学ぶ意義を再認識させていただく機会となった。

昨年十一月二十九日、講師に本学客員教授・(株)JR東海会長葛西敬之先生を迎え、経営戦略セミナー第二回が開催されました。演題は「東海道新幹線の25年」。同月二十四日に行われたリニアを中心とした「JR東海の経営」の題目のセミナーである。講義では、民営化以降の東海道新幹線が明確な長期戦略のもと、着実な設備投資・技術開発開設等によって全列車で時速二七〇キロ走行による東京〜新大阪間二時間二十五

2月 イベント情報(2~3月)

**23+** ふるさと講座 名張市武交館いきいき多目的ホール  
名張と万葉集 大島信生 文学部教授  
皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野  
特別公開講座「古文書を読もう①」  
岡野友彦 文学部教授

3月

**9+** 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野  
古事記を読む  
「第5代孝昭天皇～第8代孝元天皇」  
白山芳太郎 文学部教授

**16+** 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野  
特別公開講座「古文書を読もう②」  
岡野友彦 文学部教授

**23+** 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野  
神道と仏教  
—神社仏閣に見る神仏習合と神仏分離—  
「厳島神社における神仏習合と神仏分離」  
河野訓 文学部教授

●各講座の詳細につきましては、本学ホームページにてご確認くださいませよう願致します。  
●共催講座(近鉄文化サロン阿倍野)のみ、**有料**です。お問い合わせは近鉄文化サロン阿倍野(☎0120-106-718)へ願致します。  
●その他お問い合わせは、皇學館大学企画部(☎0596-22-6496)へ願致します。

卒業式のご案内

皇學館中学校卒業式

3月16日(土) 10:00～ 皇學館中学校 セミナーホール

皇學館高校卒業式

3月1日(金) 10:30～ 皇學館大学 記念講堂

皇學館大学学位記・修了証書授与式

3月18日(月) 11:30～ 皇學館大学 記念講堂

祝賀会 14:00～15:30 卒業生のご家族の皆様もご参加いただけます。総合体育館メインアリーナ ぜひお越しください。

教育学部4年生有志による卒業記念ミュージカル

ピーターパンとフック船長 ~わすれてはいけないもの~

予約不要☆入場無料

毎年、大好評のミュージカルショー! 今年はあの名作が学生オリジナルストーリーに生まれ変わっての登場です。

津公演 2月22日(金) 三重県総合文化センター中ホール 開場 15:00 開演 15:30

伊勢公演 3月2日(土)・3日(日) 皇學館大学 記念講堂 開場 13:00 開演 13:30

問合せ ● 皇學館大学 教育学部研究室 ☎0596・22・6458

南幸男画伯の絵画寄贈



志摩の漁港を描き続けた南画伯。日展や東光展、三重県美術展などにおいて数々の賞を受賞している

志摩の漁港を描いた故南幸男氏の作品一点が本学に寄贈され、佐古一列理事長から南氏の御子息・聡幸氏に対し感謝状の贈呈が行われた。南氏は一貫して志摩の風景を描き続け、日展に十一回の入選を果たすなど志摩が誇る洋画家である。平成二十一年に逝去されたが、その温かな画風は今なお多くの人を魅了し続けている。

洋画家・南幸男氏(一九三五〜二〇〇九)は昭和十年志摩市(旧阿見町)生まれ。志摩市内の小学校に勤め、志摩市立波切小学校長を最後に退職した。この間、人材育成など三重県の美術教育に貢献する傍ら、画家として作品を発表してきた。また、地域の美術展や美術団体の活動にも積極的に携わり、メディアにも数多く出演。大王崎など志摩地方の美しさを紹介してきた長年の功績が認められ、平成二十一年に三重県民功労者表彰を受けている。

今回、寄贈された作品は第三十五回三重県教職員美術展に出品された

柔道部が内宮遙拝 部員16名が新年の初稽古



宇治橋前に整列し、精進を誓う部員たち

佐藤武尊監督率いる本学柔道部十六名(男子十一名、女子五名)が一月五日、新年の初稽古を行った。

午前九時、柔道場に集まった部員らはストレッチャや側転などをして体をほぐすと、投げ技の打ち込みや互いに技を掛け合う乱取りをして練習に励んだ。その後、神宮内宮まで走り、宇治橋の鳥居前で遙拝。技の上達を祈願した。

「今年もチーム一丸となって勝ち上がっていききたい」と気合十分



感謝状を受け取る南聡幸氏

皇學館ミュージアム

御菅蓋「写」附釣台一基

おかんがい うつし

深江稲荷神社 大阪 寄贈

蓋とは「おおがさ」とも訓み、朝儀・祭会の際、雨や炎天に備えて差しかける長柄の大きな笠です。菅の蓋は雨天の儀式に備えるための調度で、竹の骨に菅を編み円形に仕立てられています。所蔵品は大嘗祭で天皇が大嘗宮に渡御される時差しかけられる菅蓋の写です。菅蓋と長柄の先端に横木を附けた柄、口元につけた吊緒の綱から構成されています。尚、原品には柄の上部に鳳凰等の彫像が取り付けられています。御大札後の即位礼及大嘗祭後神宮御親饗にも使用されます。

佐川記念神道博物館教授・学芸員 岡田芳幸

雨天の儀式に備えた調度

地域活性化活動の拠点に「駅前ちよっとラボ」を開設

平成二十一年に締結した本学と伊勢市との連携協定に基づき、伊勢市観光文化会館の一階駐車場管理室を地域活性化活動の拠点として利用できることになった。その名も「駅前ちよっとラボ」。

目的はボランティアや地域に根ざした教育・研究活動、地域文化の振興や福祉・生涯学習の推進、環境の保全、再生など何らかの形で地域の発展に貢献できるものに限る。

利用期間は平成二十六年三月末日まで。およそ十畳ほどのスペースで、十名から十二名程度の収容が可能。時間は午前八時から午後十時。宇治山田駅のすぐ前にあり、無料(電気代等有料)。今後は、同ラボが地域活性化に向けた情報発信の場、



往復約7キロを完走

◆今号では、地域連携についての様々な取組みが紹介されています。三重県、とくに南勢地域の若年人口は今後急速に減少し、少子高齢化が急加速しています。先日の市長トークで鈴木市長は、「笑子・幸齢化社会をめざす。そのために、学生がもつと地域で活躍してほしい」と話されました。地域が本学に寄せる期待は、今後ますます大きくなります。大学が持つシナジーと、地域社会のニーズを結びつける役割が最も重要と言えます。学生が地域から刺激を受け、地域も学生の若い力を受け、お互いに成長・発展していけるよう、スタッフ一同頑張りたいと思います。

【企画部】

地域との積極的な交流の場として盛り上がりつつあることを期待したい。現在、櫻井治男教授が代表を務める「神都百物語」を読む会、筒井琢磨教授が世話人の「現代日本社会学部 地域社会研究会」が利用を希望している。申込みは企画部まで。